

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【公表番号】特表2012-516264(P2012-516264A)

【公表日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2011-547976(P2011-547976)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/427 (2006.01)

B 6 0 N 2/26 (2006.01)

B 6 0 N 2/48 (2006.01)

A 4 7 C 7/50 (2006.01)

B 6 0 N 2/22 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/427

B 6 0 N 2/26

B 6 0 N 2/48

A 4 7 C 7/50 A

B 6 0 N 2/22

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月28日(2013.1.28)

【手続補正1】

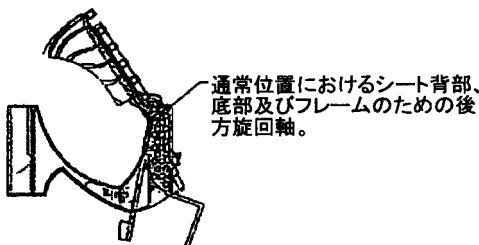
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3-11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3-11】



【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

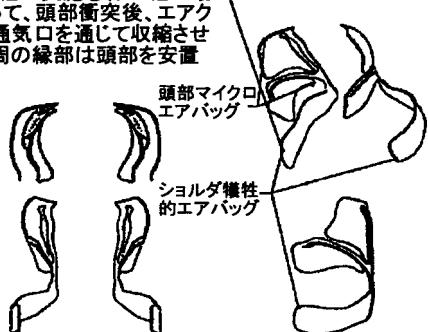
【補正対象項目名】図6-6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6 - 6】

この実施態様において、エアダクトはマイクロクッションの頂部に延びている。(他の実施態様は他の場所に引込みを有する。)よって、頭部衝突後、エアクッションが底部にある一次通気口を通じて収縮させられると、ヘッドレストの外周の縁部は頭部を安置する。



【手続補正3】

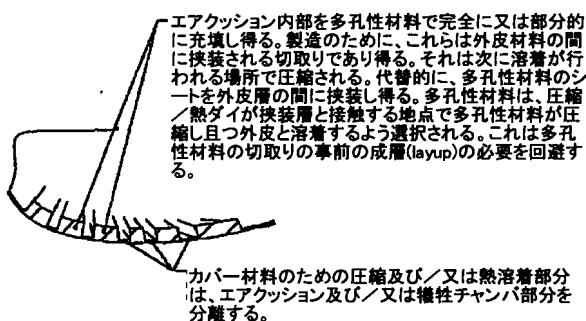
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6 - 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6 - 7】



【手続補正4】

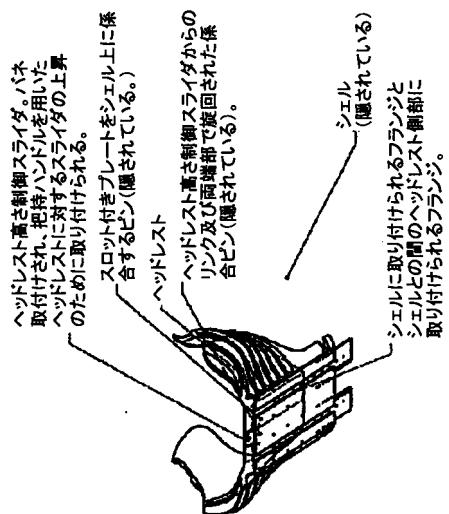
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 4】



【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 9

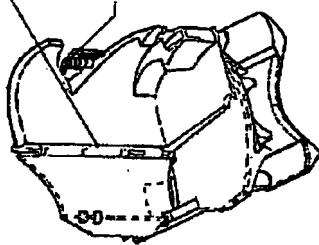
【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 9】

旋回輪は取り外され(籠界的な荷重で機械を倒すようバネ取り付けされ)、それによって、極度の荷重の下で、出入り位置への回転を許容する留め金の崩壊に伴い完全レベルの回転が得られ、後に外側シェルが買入から離れる方向に移動するのを許容する。

初期荷重を支持するために、側方衝突の間に留め金は外部シェルを所定位置に保持する。しかしながら、極度の荷重を伴う買入状況の下では、留め金は崩壊して、正に出入り位置におけるように、外側シェルが回転することを可能にし、それによって、乗員を買入から離れる方向に移動させる。



【手続補正6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 1 0】



【手続補正7】

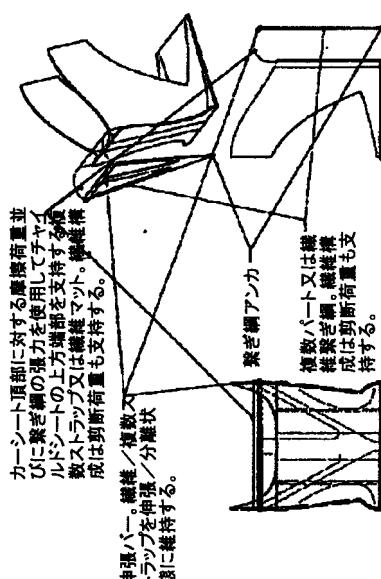
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 - 1 1】



【手続補正8】

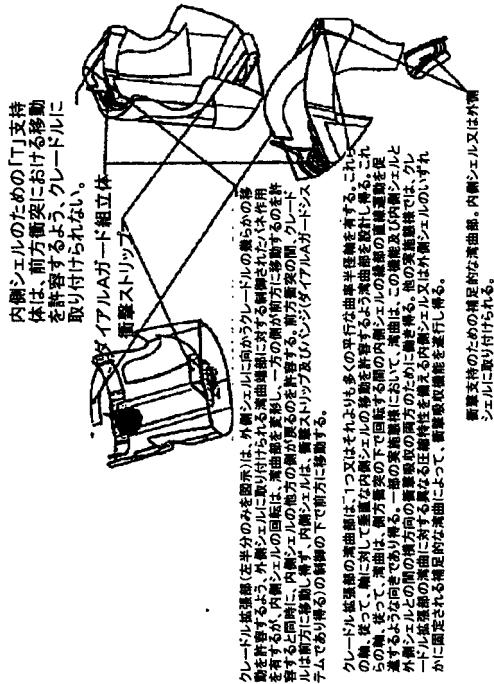
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 7 - 1 2 】



【手続補正9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 - 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7-13】

